

図書館がおくる

晩秋の連続講座

忠臣蔵の真相は？

いまをさかのぼること三百年前、殿中松の廊下刃傷に端を発した赤穂浪士討ち入りの事件は、「忠臣蔵」としていまも芝居や映画の世界などで人々の話題になっていきます。しかし、その真相は意外と知られていません。この晩秋にお送りする、大人のための連続講座では、その時代背景を探り、事件の真相を第一級史料から読み解きます。

大人のための連続講座

「元祿の江戸と赤穂事件」

講師：吉田豊氏(文京学院大学)

生涯学習センター講師、古文書インストラクター)

対象：一般(定員50名)

日時：12月2日(土)及び9日(土)

いずれも午後2時～4時

(午後1時30分受付)

会場：田無公民館3階視聴覚室

申込：11月15日(水)中央図書館にて電話受付

この講座では著作者ご本人にその専門分野を語っていただきます。皆様のご参加をお待ちします。



地域・行政資料室のご案内

中央図書館2階にある地域・行政資料室は、開室して10年目を迎えています。昭和50年に中央図書館が開館してから今日まで、収集してきた郷土に関する歴史資料、行政資料は約6万2千点となっています。

2階閲覧室

これらの資料は、永久保存を目的としているため、館外への貸し出しはできませんが、閲覧室でご利用いただけます。また、貸し出しのご希望にも

調べものに

「西東京の文化財が知りたい」「昔の地図が見たい」など、その場で質問にお答えできる場合もありますが、ときには調べる時間をいただいで、後日、回答させていただきます。

寄贈ください

地域・行政資料室は将来にわたって市民が利用できるよう、地域に関する様々な資料を永久保存しています。これは時を経



問合せ先 中央図書館内地域・行政資料室まで  
中央図書館 4651-0823

文化財

ウエーク

「下野谷遺跡展」

今回、郷土資料室では、常設展示では紹介しきれなかった豊富な土器や石器を、遺跡の写真パネルとともに展示します。保谷公民館では、写真パネル展示を行います。

「企画展」

日時 10月18日(水)

11月30日(木)

午前10時～午後5時

(月・火曜日は休館)

会場 郷土資料室

(西原総合教育施設内)

西原町4 5 6

「パネル展」

日時 11月21日(火)

26日(日)

午前10時～午後5時

会場 保谷公民館

直接、各会場へお越し下さい。

文化財講演会

「縄文時代の社会」

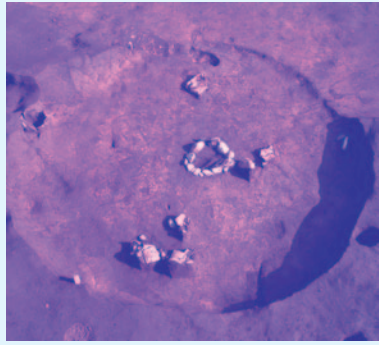
西東京市には、関東地方でも屈指の縄文時代の集落遺跡である下野谷遺跡があり、来年春には遺跡公園も開園予定です。講演では下野谷遺跡を中心に、縄文時代の社会を紐解きます。この土地を駆けた祖先たちを、生き生きと身近に感じてください。  
日時 11月25日(土)  
午後2時～4時  
会場 西東京市南町スポーツ・文化交流センター(きらっつと)

「企画展」

申し込みは直接、会場へお越し下さい(先着50名)。

社会教育課

(内線2712・2713)



ピオトープができました!

本年、保谷第二小学校は開校60周年、東伏見小学校は50周年を迎えました。これを記念し、両校に「ピオトープ」を作りました。「ピオトープ」とは、「人工」ではありませんが、「自然」の生態系を意識した池のことです。春先から企画し、児童はもとより、地域の方々のご協力も得て、夏休みには水をはり、秋には水生植物を植えました。来年の春にはおたまじゃくし



学務課(内線2621)

教育委員会報告

【第7回定例会・7月25日】

西東京市教育委員会表彰について  
平成19年度使用西東京市立小・中学校心身障害学級教科用図書の採択について

【第8回定例会・8月22日】

可決・承認  
平成18年度教育関係9月補正予算について(申出)の専決処分について

教育財産の処分について(申出)の専決処分について

教育財産の処分について(申出)の専決処分について(申出)の専決処分について

西東京市立学校給食運営審議会委員の解任及び任命について

西東京市立学校施設使用料の適正化について(諮問)

【第9回定例会・9月26日】

可決・承認  
平成18年度西東京市立小学校の副校長人事についての専決処分について

西東京市社会教育委員の解任について

教育庶務課(内線2614)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

教育庶務課(内線2612)

シリーズ 西東京市文化財

六角地藏石幢

(市文化財第22号)

江戸時代に保谷町四丁目7番の富士街道と深大寺道の交差する旧上保谷村西浦に建てられたものです。高さ約一・五メートルの道標を兼ねた石塔です。ほぼ正六角の石柱で六体の地藏菩薩像の下には施主名や石工、造立年が刻まれています。六面の銘文より、「光山堂」と「つや」という女性の菩提を弔うために寛政7年(1795)に野口氏と秋本氏が江戸「市谷四丁目石工 角田屋長右門」に注文して造らせたことがわかります。また、道標として「西八大道」「東八ねりま道」「練馬道」「南八志んたい寺道」「深大寺道」と記されています。なお、北面の部分は摩滅と傷による損傷が著しく判読が困難ではありますが、北八所沢道もしくは新倉道とあつた可能性があります。現在でも毎年7月24日に講を行い供養されています。地域の厚い信仰を集めているだけでなく、江戸時代の上保谷村の歴史、地域の交通や生活を伝えているかけがえのない文化財です。昭和61年に貴重な文化財として指定されました。



市文化財保護審議会委員 都築 恵美子